

## 株式会社 IMAGICA TV 第 2 回番組審議委員会議事録

開催日： 2008年5月14日(水) 10:30～12:00  
開催場所： 東京都港区白金台三丁目19-1 株式会社 IMAGICA TV 内 会議室  
出席者：

放送番組審議委員	株式会社 IMAGICA TV
小倉 紀行	星 正人 (代表取締役)
植田 敬三	草野 雄次 (取締役)
横田 栄三	杉尾 壮弘 (取締役)
犬養 亜美	野村 憲一
石川 俊之	小瀬 朋子
小倉 茂	前田 沙弥香
	高野 佳彦

(以上、敬称略)

議題：「洋画★シネフィル・イマジカ」、「食&健康バラエティ★フーディーズ TV」および「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

配布資料：上記各チャンネル4月および5月プログラムガイド  
各チャンネルメディアプロフィール

審議内容：

- ① 開会挨拶 (星代表取締役)
- ② 各チャンネル編成担当より活動方針、編成方針の説明
- ③ 各チャンネルの番組、編成に関するご意見

◆『洋画★シネフィル・イマジカ』について

- ・最近シネフィルらしい特徴が色濃くでてきていると思う。
- ・チャップリン特集はデジタルリマスター仕様で画質も良く大変貴重な特集
- ・開局当時は、チェコ映画やポーランド映画など、日本ではそれこそ単館上映もされないような作品が多かった。

例えばミニシアター特集や、欧州国別特集など、このような作品を編成、放映してくれる映画チャンネルは他にないので今後も是非取り組んでほしい。

- ・EPGの番組説明で「次回以降の放送日」が表示されていないので考慮してほしい  
見始めるのが番組の途中から、という場合最初から見るには次回放送予定が載っているとありがたい。

また、アニメのショートフィルムなど、見たい作品はたくさんあるが、EPGから探すのは非常に大変。

- ・現在本編の前に出しているあらすじ、見どころテロップは本編を見る際の貴重な情報で、非常に良いと思うが、願わくは淀川長治氏に代表される、昔の地上波の定番であった解説文化を、実際に語ってもらうような形態を是非復活させて欲しい。作品の特徴、監督の業績、時代背景など特に若い視聴者向けに提供できるとよいのではないか。
- ・プログラムガイドは、贅沢でよい。

◆『食&健康バラエティ★フーディーズTV』について

- ・「料理の基本」シリーズは非常によくできている。見る立場をよく研究されている。
- ・試食シーンがないのがいい。そういったものに時間を取らない分、短い時間で密度が高く、また料理のコツがインサートされたり材料の切り方、器の置き方などあえて入れておいてくれるので あらためて教えてもらうことや、発見がある。
- ・海外ものを見ているとあらためて料理は文化だと感じさせられる。作り方もまた文化で、アメリカ、アフリカ等々で作り方（ポテトの皮のむき方やトマトの切り方等々）も違うし、日本人の細やかさに対するある種の大雑把さにも文化を感じて、映像で見るととても面白い。
- ・意外とターゲットが難しいのではないか。  
自分で料理して、作り慣れている立場としては、拾える情報があるかもしれない、という視点で見ており、例えるなら興味のない新聞記事を見ている印象。  
昨今 web 等で無料のレシピなどがいくらかでもある中で、有料で提供するものに対してはコストをかける以上の満足感を得たい、と思うのが視聴者。
- ・アーカイブとして長い間使用できるものの充実は必要かもしれないが、反面情報という意味では最先端のものが常に必要。
- ・現在フィルターとして使用している世界の都市の風景が、活気に溢れていて非常によいと思う。
- ・番組冒頭に2回同じCMが流れることがあり、少し構成を考えて欲しい。
- ・過去に不祥事があった出演者の番組が放送されていたが、このようなケースでの放送基準は？  
→ 事件当時は放送を自粛し、社会的に活動再開が認知された時点で放送を再開している
- ・NHKからの購入番組は、視聴者からの要望などがあるのか？  
→ 基本的にはお客様のリクエストに沿って購入、放送をおこなっている。

◆『歌謡ポップスチャンネル』について

- ・「高田渡生誕祭」は非常に見ごたえがあり面白く、このような企画をしていることに慧眼の思い。従来のカラオケチャンネルのイメージがあったので認識をあらためた。
- ・団塊世代の好きな音楽ジャンルは6~8に分かれると言われ、そのいずれも50%のシェアは取れていない。その中で演歌は例えて言えばポピュラーでナチュラルなもの。対してフォークはどちらかといえばローカルなものであり、ポピュラーなものを提供しつつ、ローカルなジャンルに敢えてフォーカスを当てていることは大賛成。

- ・「キング演歌まつり」については、申し訳ないがこれほどつまらないものはない、という印象。背景もない、ダンスもない、照明もよくない、トーク部分も面白くない。  
画質も非常に悪く、低予算が透けて見える印象。
- ・画質の印象は地上波で HD が増えてきたことの反動かもしれない
- ・「Folk&Rock Alive」のエピソードは、ミュージシャンになるまでのいきさつ部分が非常に面白かった。トーク部分に時間を多く取って掘り下げているライブ番組はなかなかなく、実感が沸く。
- ・視聴者個々の「なつかしき」は千差万別であり、それ故に「なつかし」ジャンルは時々変化していく。フォークの次はロック系などを考えている。
- ・ライブ番組のエンディング後、通販番組の CM がいきなり始まったので、余韻を楽しむことができなかった。CM や通販番組があるのは仕方のないことではあるが、本編の内容と CM の内容、変わり目に配慮をして欲しい。
- ・プログラムガイドは文字サイズを含め改善の余地あり。

④ 衛星放送、CATV など多チャンネルの市場動向についての補足説明（草野取締役）

⑤ 今後の番組審議委員会の開催について

次回の番組審議委員会は、今年 11 月頃に開催することを確認する。

以上